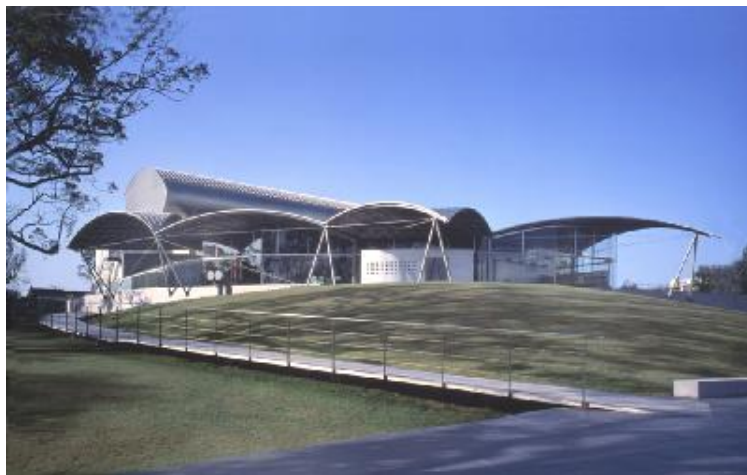

令和5年度(2023年度) 八代市立博物館未来の森ミュージアム 活動報告書



令和5年4月1日～令和6年3月31日

目 次

1. 博物館資料の収集、保管	3
2. 博物館資料の展示	4
3. 調査研究	10
4. 博物館資料を用いた学習機会の提供や教育活動	11
5. 職員の研修実績	16
6. 資 料	17

令和5年度入館状況等

基 本 方 針

- 独自の視点と調査に基づく秋季特別展覧会「八代の歴史と文化シリーズ」の開催
- （財）松井文庫所蔵品の調査・研究、展示、古文書調査報告書の刊行等
- 考古・歴史・民俗・美術工芸（八代焼、肥後鐔、染韋、和紙など）の調査・研究、収集・展示

1. 博物館資料の収集、保管

(1) 令和5年度寄贈資料（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

・出征旗(昭和時代)	1点
・八代郡高田手永惣庄屋資料（江戸～昭和）	364点
・紙截ち型板ほか（宮地手漉和紙関係資料、一部市指定文化財）	1括
・御用紙漉関係文書及び道具（宮地手漉和紙関係資料、一部市指定文化財）	1括
・鮫皮漆塗細工香合（深水基作）ほか	1括
・中川家系図（平成20年に受納した資料に追加寄贈）	1点
・文政村大字塩濱耕地整理施行地区確定図（明治中期～大正時代）	1幅
・陰刻地藏菩薩像板碑（古墳石材を再利用、長禄2年・1458銘）	1基

(2) 令和5年度寄託資料（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

・鐔 平田彦三作 素銅木瓜形 江戸時代初期（熊本県指定重要文化財）	1枚
-----------------------------------	----

(3) 博物館資料の数（令和6年3月31日現在）

ア. 館蔵資料

分野	件数（件）	点数（点）	主な収蔵品
考古	86	7,751	江上コレクションほか
歴史	173	7,177	八代城、八代町、八代郡、干拓関係ほか
民俗	415	1,659	生業、祭礼関係ほか
美術	435	1,528	八代焼、肥後鐔、染韋、和紙、河俣塗等
写真	13	4,465	麦島勝撮影写真ほか
自然	5	13	化石ほか
合計	1,127	22,593	

イ. 寄託資料

分野	件数（件）	点数（点）	備考
考古	4	39	
歴史	32	15,691	松井文庫所蔵品含む
民俗	20	1,339	
美術	33	1,166	松井文庫所蔵品含む
合計	89	18,235	

ウ. 館蔵資料・寄託資料数合計 1,216件 40,828点

(4) 保管状況

収蔵庫名	床面積（㎡）	収蔵点数（概数）	収蔵内容
特別収蔵庫	92.05	11,000点	美術工芸品、古文書等
第一収蔵庫	58.00	1,000点	美術工芸品等
第二収蔵庫	159.36	19,000点	美術工芸品、歴史資料、現代絵画等
第三収蔵庫	133.03	10,000点	民俗、考古資料等
合計		41,000点	

2. 博物館資料の展示

(1) 特別展覧会 (特別展示室：289.58 m²・第2常設展示室：242.84 m²)

ア. 春季特別展覧会「日本画の巨匠 堅山南風展」

会 期 令和5年4月21日(金)～6月4日(日) 毎週月曜日休館 開館日数 39日間

会 場 特別展示室・第2常設展示室

主 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市

後 援 熊本日日新聞社

協 賛 八代市立博物館友の会

観 覧 料 一 般 800円(640円) 高大生 500円(400円) 中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金 ※5月5日(金・こどもの日)は無料開館

担 当 者 学芸員 石原、鳥津、南浦

入館者数 3,293人 ※有料入館者1,660人 無料入館者1,633人(うち中学生以下201人)

講 演 会 ①令和5年5月13日(土) 14時～ 博物館講義室にて 参加者34名
演題「南風芸術 鑑賞へのアプローチ」講師：古家良一氏(元熊本県立美術館学芸課長)

②令和5年5月20日(土) 14時～ 博物館講義室にて 参加者40名

演題「南風先生が愛した八代」講師：石原・鳥津(当館学芸員)

広 報 ポスター(600枚)、チラシ(10,000枚)、広報やつしろ4月号特集

博物館ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、熊本日日新聞掲載(4/25, 5/10)、RKK(4/21)、NHK(6/1)、FM やつしろ(やつしろインフォメーション4/26、サンセットラジオ5/30)

出品点数 43件

結 果

令和5年度春季特別展覧会は、熊本出身の日本画家・堅山南風(1887-1980)の作品37点(初公開6点)及び関連資料6件(初公開3件)を紹介した。第1章「南風の画業」では南風の名を世に知らしめた代表作「霜月頃」をはじめ各時代の名作を厳選して紹介、南風芸術の神髄に迫る展示となった。第2章「南風に影響を与えた人々」では、細川護立をはじめ南風に影響を与えた画家や文化人との交流を紹介。第3章「南風と八代」では、春光寺前住職澤田清宗(せいそう)および松井家13代当主明之(はるゆき)との交流を、77通に及ぶ南風書簡にて紹介、今まで知られていなかった南風の動向や八代との関わりを解き明かし、南風の人柄や繊細な美意識を知ることができた。これらの書簡は、今後の南風研究の重要資料として高く評価されることが予想される。

会期中3,293名の入館者を迎えた。展覧会後半は、松浜軒花菖蒲の見頃とも重なり、若い年齢層の入館も増え、昭和の芸術文化を次世代に継承するという役割も果たすことができた。入館者へのアンケート結果から、満足度は92.7%。「南風芸術の魅力を堪能」「わかりやすい展示解説で作品を深く鑑賞できた」「松井家と春光寺との交流が興味深い」など数多くの感想が寄せられ、八代の文化史に堅山南風の名を刻む意義深い展覧会となった。



イ. 夏季特別展覧会「不思議がいっぱい！なりわいの道具」

会 期 令和5年7月14日(金)～8月27日(日) 毎週月曜日休館(祝日の場合はその翌日)
開館日数 39日間

会 場 特別展示室

主 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市

協 賛 八代市立博物館友の会

観 覧 料 一 般 400 円 (320 円) 高大生 300 円 (240 円) 中学生以下は無料

※ () 内は 20 名以上の団体料金

担 当 者 学芸員 木村

入館者数 1,444 人 ※有料入館者 753 人、無料入館者 691 人 (うち中学生以下 306 人)

体験講座 子ども体験講座「むかしの道具をつかってみよう！」

日 時 令和5年7月29日(土)・8月5日(土)

① 9時30分～ ②10時30分～ ③11時30分～ 各日計3回開催

場 所 博物館講義室にて

指 導 本館学芸員(鳥津・木村)

参加者 2日間 合計45名(児童27名・保護者18名) ※定員各回5組

広 報 ポスター(600枚)、チラシ(10,000枚)、広報やつしろ・博物館ホームページ・熊本日日新聞掲載(7/25)、NHK(7/28)、KKT(8/15)、RKK(8/23)・FMやつしろ(7/20、8/8)など

出品点数 76件

結 果

本展覧会は、自然豊かな八代で育まれた暮らしを伝えることを目的に企画した。展示室では、八代で明治時代から昭和時代頃まで使われていた農具、漁具、山樵道具、石工道具といった「なりわい」の道具を展示した。

夏休み期間ということで家族連れでの来館が多かった。子どもたちの理解の助けとなるよう解説にイラストを多用し、道具の体験コーナーも設けたが、子どもたちだけでなく、大人からも「分かりやすかった」と好評をいただいた。

アンケートの回答には、「家にあった」「昔、家の手伝いで使っていた」と懐かしむ声が多くあった。また、「八代に長く住んでいたけど、知らないことばかりだった」「八代の幅広い生業を知ることができた」といった感想もいただいた。郷土の暮らしへの理解を深めてもらうという目標は概ね達成することができたと考えている。



ウ. 秋季特別展覧会 八代の歴史と文化 32

「未来の森ミュージアム名品選～これが私たちの宝物～」

会 期 令和5年10月20日(金)～12月3日(日) 毎週月曜日休館 開館日数 39日間

会 場 特別展示室・第2常設展示室

主 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市・熊本日日新聞社

特別協力 公益財団法人永青文庫 **協 賛** 八代市立博物館友の会

観 覧 料 一 般 800 円 (640 円) 高大生 500 円 (400 円) 中学生以下無料

※ () 内は 20 名以上の団体料金 ※11月3日(文化の日)は無料開館

担 当 者 学芸員 宮原江梨

入館者数 2,681 人 ※有料入館者 918 人 無料入館者 1,763 人 (うち中学生以下 682 人)

講 演 会 各回 14 時～15 時 30 分／博物館講義室にて／聴講無料／定員 40 名／事前申込制

① 令和5年10月28日(土) 参加者: 33 名

演題「思い出すまー博物館コレクション秘話」講師: 福原透氏 (元八代市立博物館副館長)

② 令和5年11月4日(土) 参加者: 40 名

演題「知られざる八代の美術～金工と絵画～」講師: 山崎／石原

③ 令和5年11月11日(土) 参加者: 40 名

演題「宮本武蔵書状と西山宗因資料」講師: 林／鳥津

④ 令和5年11月25日(土) 参加者: 38 名

演題「八代の工芸品と民具」講師: 宮原／木村

広 報 ポスター(600 枚)、チラシ(10,000 枚)、熊本日日新聞連載全 6 回、広報やつしろ 10 月号特集、西日本新聞掲載、FM やつしろ、RKK (11/3)・NHK (11/8)、TKU (11/23)、ひこいちテレビ、博物館ホームページ・SNS など

制 作 物 展覧会図録 (800 部) **出品点数** 106 件

特別出品 宮本武蔵筆「鵜図」「芦雁図屏風」国指定重要文化財 公益財団法人永青文庫所蔵

結 果

令和5年度秋季特別展覧会では、今年開館 32 周年を迎えた当館のひとつの集大成として、当館所蔵品から学芸員選りすぐりの名品と剣豪・宮本武蔵の名画を紹介した。

展覧会では、当館が所蔵する江戸時代～近代の美術工芸品、歴史資料、民俗資料から厳選した 104 件、公益財団法人永青文庫が所蔵する宮本武蔵筆の絵画「鵜図」、「芦雁図屏風」を特別に展示した。八代の歴史文化の礎を築いた様々な分野の資料を一堂に紹介したことにより、郷土の宝を見つめ直すきっかけとなったことと思う。また、永青文庫所蔵の武蔵絵画 2 件はどちらも国指定重要文化財であり、日本が誇る名画を鑑賞する貴重な機会となった。

入館者へのアンケート調査では、展覧会の満足度について回答者の 93%が「とてもよかった／よかった」と評価した結果となった。県外からの来場者も多くあり、「初めて八代市にお邪魔して何の知識もありませんでしたが、勉強になりました」などの感想をいただくことができ、展覧会を通して八代の魅力を知っていただく良い機会となった。



エ. 冬季特別展覧会「武将の備え 八代城主松井家の武器と武具」

会 期 令和6年2月9日(金)～3月24日(日) 毎週月曜日休館(祝日の場合はその翌日)
開館日数 39 日間

会 場 特別展示室・第2 常設展示室

主 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市

特別協力 一般財団法人松井文庫

観 覧 料 一般 500 円(400 円) 高大生 300 円(240 円) 中学生以下は無料
※() 内は 20 名以上の団体料金

担 当 者 学芸員 林

入館者数 2,865 人 ※有料入館者 1,907 人 無料入館者 958 人(うち中学生以下 266 人)

講 演 会 令和6年3月9日(土) 14 時～15 時 30 分 博物館講義室にて
講 師 林(当館学芸員)

演 題 「武具に秘められた武将の思い」 参加者 40 名

広 報 ポスター(600 枚)、チラシ(10,000 枚)、広報やつしろ特集号、熊本日日新聞掲載、博物館友の会会報、FM やつしろ出演、ひこいちテレビ、博物館ホームページ、SNS 等

出品点数 53 件

特別出品 巴螺鈿鞍 国指定重要文化財 熊本県立美術館所蔵

陳佐左衛門指出 熊本大学附属図書館所蔵 松井家文書

結 果

戦陣を指揮する武将にとって、武器・武具は戦うための実用品であると同時に、自らの存在をアピールするファッションアイテムでもあった。武将たちは、武器・武具の使い勝手のみならず、その美しさにも気を配ったのである。

江戸時代に八代城主をつとめた松井家には、500 点を超える武器・武具が伝来している。これらの中には、平安時代末期から室町時代にかけて製作された刃文の美しい刀剣、種々の材料や技法を駆使した肥後拵、蒔絵をほどこした豪華絢爛な馬具、兎の耳を模したユニークな形の兜、細川三斎流として名高い洗練されたデザインの甲冑、高級な羅紗を用いた派手な色合いの陣羽織などが含まれており、当代武将たちの美意識の高さをうかがうことができる。

また、松井家には、武器・武具を配した松井家歴代当主の肖像画が伝来している。ここに描かれる武器・武具は、戦陣の褒美として主君から与えられたもので、拝領品である武器・武具が、御家の名誉を象徴する品として取り扱われていたことがわかる。

本展では、松井家に伝来する武器・武具を中心に 90 点あまりを展示した。本展を通して、武器・武具の実用性を超えた意味について考える重要な機会となった。

備 考 本展は令和2年4月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、令和3年4月に再び開催を試みたものの、感染リスクレベル引き上げを受け、開会翌日から休館、そのまま会期を終了したものの。



(2) 常設展示 (第1 常設展示室 : 581.56 m²)

八代焼 (高田焼)	令和5 年3 月28 日～6 月18 日	八代焼の向付 (8 点)
	令和5 年6 月20 日～10 月1 日	暦手文様の八代焼 (8 点)
	令和5 年10 月3 日～12 月17 日	香炉と文房具 (13 点)
	令和5 年12 月19 日～同6 年3 月24 日	八代焼の茶道具 (9 点)
麦島勝撮影写真	令和5 年4 月21 日～6 月18 日	レールが夢を運んでくれる (7 点)
	令和5 年6 月20 日～9 月24 日	街はハイカラ (7 点)
	令和5 年9 月26 日～12 月17 日	川とともに暮らす (7 点)
	令和5 年12 月19 日～同6 年3 月24 日	大地に生きる (7 点)
古文書を読む	令和5 年4 月25 日～7 月2 日	起請文の世界 (12 点)
	令和5 年7 月4 日～9 月3 日	死を伝える言葉 (12 点)
	令和5 年9 月5 日～同6 年1 月14 日	古文書の中の鮎 (12 点)
	令和6 年1 月18 日～5 月19 日	喜びを伝える言葉 (12 点)
信仰のかたち	令和5 年4 月21 日～10 月1 日	釈迦院の仏神像 (4 点)
	令和5 年10 月3 日～同6 年4 月7 日	阿弥陀如来と薬師如来 (4 点)
金工	令和5 年3 月28 日～5 月28 日	桜文様の金工作品 (9 点)
	令和5 年5 月30 日～8 月6 日	肥後鐔の美Ⅰ (透かし鐔) (16 点)
	令和5 年8 月8 日～10 月9 日	肥後鐔の美Ⅱ (象嵌の技) (12 点)
	令和5 年10 月11 日～同6 年3 月24 日	八代の金工師 釘谷洞石と聴石 (14 点)
企画コーナー	令和5 年3 月28 日～6 月18 日	妙見宮の絵馬Ⅰ (5 点)
	令和5 年6 月20 日～9 月24 日	妙見宮の絵馬Ⅱ (7 点)
	令和5 年9 月26 日～同6 年1 月8 日	妙見祭の亀蛇 (2 点)
	令和6 年1 月10 日～3 月24 日	消防道具 (10 点)
和紙	令和5 年4 月21 日～6 月18 日	和紙作りの道具 (8 点)
	令和5 年6 月20 日～9 月24 日	ペーパークラフト～切組灯籠～ (5 点)
	令和5 年9 月26 日～12 月17 日	八代と製紙業 (17 点)
	令和5 年12 月19 日～同6 年3 月24 日	千代紙Ⅰ～Ⅳ (35 点)
通年	八代城城郭模型／瓦からわかる麦島城・八代城 (6 点)	
	昔の道具 (11 点) ／米作りの道具 (28 点) ／和紙作りの道具 (5 点)	
	出土遺物が語る八代の古代～弥生時代・古墳時代～ (13 点)	

(3) 常設展示 (第2 常設展示室 : 242.84 m²)

松井文庫所蔵品	令和5 年6 月6 日～8 月20 日	茶の湯の世界～松井家の茶道具名品選～ (26 件)
	令和5 年8 月22 日～10 月15 日	やつしろ美術動物園 (26 件)
	令和5 年12 月5 日～同6 年2 月4 日	金屏風と龍の絵 (6 件)

(4) 企画展示 (第2 常設展示室 : 242.84 m²)

新収蔵品展 令和6 年3 月26 日～4 月29 日 (27 件)

近年、当館へ寄贈・寄託いただいた新収蔵品の中から、調査・修復を終えた作品を「肥後の工芸品と絵画」「八代の珍書」「松岡家文書」「近代の世相」の4つのテーマで紹介。いずれも初公開。

※以上の展示・博物館資料の情報は、博物館ホームページを通じて公開した。

(5) 令和5年度年間展示一覧

八代市立博物館未来の森ミュージアム〔令和5年度〕展示予定																							
会場	特別展示室（2階）	第2常設展示室（1階）	第1常設展示室〔考古・歴史・美術・民俗〕（1階）																				
内容	特別展・貸会場	特別展・松井文庫ほか	八代焼	八代城	写真	古文書	信仰	金工	考古	民俗1	民俗2	和紙											
4	4/10～16 環境調整期間	新収蔵品展 3/14～4/16	3/28 ～ 6/18	通年	4/21 ～ 6/18		4/21 ～ 10/1	3/28 ～ 5/28	通年	3/28 ～ 6/18	通年	千代紙 ～4/16											
			4/17～4/20 春季展準備のため休館																				
			5	令和5年度 春季特別展覧会 日本画の巨匠 堅山南風展 4月21日（金）～6月4日（日）	八代焼の 向付	瓦 か ら	写真家・ 麦島勝の 世界Ⅰ レールが 夢を運ん でくれる	4/25 ～ 7/2 古文書 を読む1 起請文の 世界	信仰の かたちⅠ	桜文様の 金工作品 5/30 ～ 8/6 肥	出土遺 物が	妙見宮の 絵馬Ⅰ	昔の 道具	4/21 ～ 6/18 和紙 作りの 道具									
6		6/20													6/20				6/20	6/20			
6/26～7/2 くん蒸のため休館																							
7	7/3～9 環境調整期間	令和5年度 夏季特別展覧会 不思議がいっぱい！ なにかの道具 7月14日（金）～8月27日（日）	松井文庫Ⅰ 茶の湯の世界 ～松井家の茶道具名品選～ 6/6～8/20 国指定重要文化財出品	～ 10/1 暦手 文様の八 代焼	わ か る	～ 9/24 写真家・ 麦島勝の 世界Ⅱ 街はハイ カラ	7/4 ～ 9/3 古文書 を読む2 死を伝える 言葉	釈迦院の 仏神像	後鐺の美Ⅰ 8/8 ～ 10/9 肥後鐺 の美Ⅱ	語る八代 の古代	～9/24 妙見宮の 絵馬Ⅱ	と米づ くりの 道	～9/24 ペーパー クラフト 切組灯籠										
														8									
9	★八代市文化祭 9/4～10/10予定	松井文庫Ⅱ やつしろ美術動物園 8/22～10/15	10/3	島	9/26 ～ 12/17	9/5 ～ 1/14 古文	10/3				9/26 ～1/8 妙		9/26 ～12/17										
														10	10/11～15 環境調整期間								
10/16～10/19 秋季展準備のため休館																							
11	令和5年度秋季特別展覧会・八代の歴史と文化32 未来の森ミュージアム名品選 ～これが私たちの宝物～ 国指定重要文化財出品 10月20日（金）～12月3日（日）	松井文庫Ⅲ	～ 12/17 香 炉と文房 具	城・ 八 代 城	写真家・ 川とともに 暮らす	書を 読む3 古文書 の中の 點	～ 4/7 信仰 のかたちⅡ	～ 3/24 八代 の金工師 釘	彌生時 代・古	見祭の 亀蛇	具	八代と 製紙業											
													12	★12/8～10 八代こども美術展	12/19	12/19							
12/29～1/3年末年始の休館																							
1	★県書道連盟入賞作品展 1/6～8 ★八代こども工作展 1/12～14 ★八代こども書写展 1/19～21 ★片岡雪子展 1/24～28 1/29～2/4 環境調整期間	金屏風と龍の絵 12/5～2/4	～ 3/24 八 代焼		～ 3/24 写真 家	1/16 ～ 5/19	阿弥陀 如来	谷洞石	墳時代	1/10 ～ 3/24		～ 4/7 千											
													2										
2/5～2/8 冬季展準備のため休館																							
2	令和5年度 冬季特別展覧会 八代城主松井家の武器と武具 国指定重要文化財出品 令和6年2月9日（金）～3月24日（日）	新収蔵品展	の茶 道具		・麦島 勝の世 界Ⅳ 大地に 生きる	古文書 を読む4 喜びを 伝える 言葉	と薬師 如来	と聴石	消 防道 具			代紙 Ⅰ Ⅳ											
													3										
3/25～ 環境調整期間																							
★＝貸会場 ★＝八代市または八代市教育委員会主催事業 ★★の展示は無料でご覧いただけます。																							
R5.4.10調整																							

※常設展示「茶の湯の世界～松井家の茶道具名品選～」にて平石如砥墨蹟(国指定重要文化財、一般財団法人松井文庫所蔵)出品(展示期間:令和5年6月6日～6月18日)

3. 調査研究

(1) 松井文庫所蔵古文書調査（平成6年度～30年目）

- ・旧八代城主松井家に伝来する古文書(1万通)の整理・調書作成・補修・写真撮影・目録作成・解読を行う。解読終了分については、『調査報告書』（史料集）として刊行。
- ・令和5年度分として、552通の調書作成・補修・目録作成を終了。
- ・令和5年度末現在、8,721通の調査・写真撮影・目録作成を終了。
- ・令和5年11月、『報告書22』刊行。

(2) 鹿子木家文書調査（令和2年度～ ）

- ・鹿子木量平・謙之助父子を輩出した鹿子木家所蔵の古文書約3,204点（令和2年度寄託）について、調書の作成、写真撮影を進めている。
- ・令和5年度末現在、973点の写真撮影を終了、714点の目録作成を終了。

(3) 博物館収蔵品の整理・再確認調査

- ・収蔵庫内の改修工事に備え、収蔵品の整理・再調査作業を段階的に行った。

(4) 他機関への調査協力

- ・永青文庫研究センター・熊本大学所蔵「松井文書」目録作成事業へ職員派遣（2名×7日）
- ・熊本県文化財保護審議会委員（1名×2日）
- ・熊本県玉名市文化財保護審議会委員・玉名市仏神像調査（1名×4日）
- ・宮崎県高千穂町文化財調査（1名×3日）
- ・熊本県山江村内文化財（仏神像）調査（1名×2日）
- ・熊本県合志市仏神像調査（1名×1日）

4. 博物館資料を用いた学習機会の提供や教育活動

(1) 講座・講演会 (9 回、参加者 353 人)

名 称	講 師	期 日	回数	参加者
春季特別展覧会 「南風芸術 鑑賞へのアプローチ」	古家良一氏 (元県立美術館学芸課長)	5 月 13 日 (土)	1	34
春季特別展覧会 「南風先生が愛した八代」	石原・鳥津 (本館学芸員)	5 月 20 日 (土)	1	40
友の会主催 特別講演会「石垣が語る！ 熊本城の魅力～城郭研究の最前線から～」	下高大輔氏 (熊本博物館学芸員)	5 月 27 日 (土)	1	43
秋季特別展覧会① 「思い出すまー博物館コレクション秘話」	福原透氏 (元市博副館長)	10 月 28 日 (土)	1	33
秋季特別展覧会② 「知られざる八代の美術－金工と絵画－」	山崎・石原 (本館学芸員)	11 月 4 日 (土)	1	40
秋季特別展覧会③ 「宮本武蔵書状と西山宗因資料」	林・鳥津 (本館学芸員)	11 月 11 日 (土)	1	40
秋季特別展覧会④ 「八代の工芸品と民具」	宮原・木村 (本館学芸員)	11 月 25 日 (土)	1	38
冬季特別展覧会 「武具に秘められた武将の思い」	林 (本館学芸員)	6 年 3 月 9 日 (土)	1	40
当館主催 (教育普及事業) 歴史講座「中世九州の仏像とその信仰－八代・熊本を中心に－」	有木芳隆氏 (永青文庫副館長・元熊本県美副館長)	6 年 3 月 23 日 (土)	1	45
			9	353

(2) 体験講座 (2 回、参加者 45 人)

名 称	講 師	期 日	回数	定員
夏季特別展覧会体験講座 「むかしの道具を使ってみよう！」	鳥津・木村 (本館学芸員)	7 月 29 日 (土) 8 月 5 日 (土)	2	45

(3) 出前講座 (17 団体、参加者 802 人)

	期 日	依頼者 (派遣場所)	テーマ	対応	参加者
1	4 月 11 日 (火)	桜十字八代リハビリテーション病院 (大同ビル)	八代の歴史と文化	山崎	40
2	4 月 11 日 (火)	熊本県量表銘柄確立研究会 (県農業研究センター)	八代城や八代平野の歴史を中心に	鳥津 木村	30
3	4 月 26 日 (水)	八代ロータリークラブ例会 (アルデアルカサル)	春季特別展覧会「堅山南風の作品 と八代とのかかわり」	石原	60
4	5 月 2 日 (火)	八代東ロータリークラブ例会 (ホワイトパレス)	春季特別展覧会「堅山南風の作品 と八代とのかかわり」	鳥津	20
5	5 月 12 日 (金)	和久田建設サロン (和久田建設)	春季特別展覧会「日本画の巨匠堅 山南風」について	鳥津	20
6	5 月 26 日 (金)	県立八代中学校 1 年生 (八代中学校技術室)	八代学Ⅰ 八代の歴史と文化	山崎	74
7	6 月 13 日 (火)	迎町 1 丁目サロン (迎町小川荘)	八代城と妙見祭の歴史	山崎 南浦	20
8	6 月 23 日 (金)	宮地小学校 5・6 年生・第八中学校 1 年生 (第八中)	宮地学 宮地和紙の歴史 (座学)	山崎	12
9	6 月 29 日 (木)	宮地小学校 5・6 年生・第八中学校 1 年生 (現地・宮地小)	宮地学 宮地和紙の歴史 (フィー ルドワーク)	山崎	12
10	8 月 21 日 (月)	学校教育課初任者研修「地域理解研修」 (八代市役所本庁舎研修室)	八代の歴史概略及び博物館の活用 について	山崎	40
11	9 月 23 日 (土)	9 月は日奈久で山頭火実行委員会 (日奈久ゆめ倉庫)	八代と種田山頭火	鳥津	50
12	10 月 14 日 (火)	鏡中学校 1 年生 (鏡中学校)	鏡町の干拓の歴史	山崎 南浦	120

	期 日	依頼者（派遣場所）	テーマ	対応	参加者
13	11月8日（水）	八代ロータリークラブ例会 （アルデアルカサール）	秋季特別展覧会「未来の森ミュージアム名品選」について	宮原	60
14	12月2日（土）	熊本博物館秋季企画展シンポジウム講演 （熊本博物館）	文献史料から見た八代（麦島・松江）城と加藤正方	鳥津	150
15	12月18日（月）	生涯学習課おでかけ公民館講座 （植柳コミュニティセンター）	植柳の歴史	鳥津	45
16	1月23日（火）	熊本さわか大学校 （桜十字ホール）	八代の歴史と文化	南浦	19
17	2月23日（金）	やつしろのお雛祭り実行委員会 （八代市役所本庁舎研修室）	八代城主松井家のお姫様たち～ゴールインまでのプロセスとファッションを深堀り～	山崎	30
				17	802

（４）展示案内（15 団体、参加者 300 人）

	期 日	依頼者	テーマ	対応	人数
1	5月12日（金）	市老人連合会生涯学習クラブ（講義室及び展示室）	春季特別展覧会「日本画の巨匠堅山南風」見学	石原	16
2	5月18日（木）	兵庫県芦屋市議会視察（講義室及び展示室）	博物館の運営状況	上角 山崎	8
3	5月21日（日）	表千家一葉会（講義室及び展示室）	春季特別展覧会「日本画の巨匠堅山南風」について	石原	31
4	6月2日（金）	八代市小・特別支援学校図画工作部会（講義室及び展示室）	春季特別展覧会「日本画の巨匠堅山南風」について	鳥津	36
5	7月25日（火）	教育サポートセンター「伝統・文化セミナー」（講義室及び展示室）	夏季特別展覧会「なりわいの道具」及び「八代の茶の湯文化と八代焼」	木村 宮原	24
6	7月28日（金）	市老人連合会生涯学習クラブ（講義室及び展示室）	夏季特別展覧会「なりわいの道具」見学	木村	13
7	10月6日（金）	熊本県市町村教育長研修大会（講義室及び展示室）	博物館の見学	上角 山崎	20
8	10月21日（金）	台湾市基隆市民使節団（講義室及び展示室）	秋季特別展覧会「未来の森ミュージアム名品選」見学	山崎	29
9	11月8日（水）	千葉県流山市議会視察（講義室及び展示室）	博物館の運営状況	上角 山崎 久保	9
10	11月9日（木）	山鹿市立博物館友の会（講義室及び展示室）	秋季特別展覧会「未来の森ミュージアム名品選」見学	林 宮原	40
11	11月10日（金）	市老人連合会生涯学習クラブ（講義室及び展示室）	秋季特別展覧会「未来の森ミュージアム名品選」見学	宮原 林	10
12	11月23日（木）	八代市ロータリークラブ（展示室）	秋季特別展覧会「未来の森ミュージアム名品選」見学	石原	15
13	3月1日（金）	大学コンソーシアム熊本	冬季特別展覧会「武将の備え」見学	石原	37
14	3月8日（金）	市老人連合会生涯学習クラブ（講義室及び展示室）	冬季特別展覧会「武将の備え」見学	林	7
15	3月21日（木）	延岡市商工観光部・歴史文化都市推進課視察	博物館における八代城跡や城跡関連資料の展示活用状況調査	山崎	5
				15	300

（５）学校等見学の利用状況（34 団体、参加者 1,289 人）

	期 日	団体名	児童生徒	引率	計	テーマ	案内
1	5月25日（木）	代陽小学校 6 年生	68	4	72	代陽校区の文化財と八代城	○
2	6月2日（金）	くま川教室（中学生）	4	6	10	堅山南風展見学	○
3	6月2日（金）	熊本高専八代キャンパス	38	1	39		
4	6月16日（金）	県立八代中学校 1 年生	79	3	82	八代学・地域探求のため	○
5	7月21日（金）	二見中央保育園	8	3	11		
6	7月25日（火）	県立八代中学校 1 年生	5		5	調べ学習・八代城主について	○

	期 日	団体名	児童生徒	引率	計	テーマ	案内
7	7月27日(木)	学童クラブジュニアス(小中生)	6	1	7		
8	7月27日(木)	県立八代中学校1年生	5		5	調べ学習・八代城主について	○
9	7月28日(金)	八代子ども劇場(小中生)	10	3	13		
10	8月2日(水)	いずみ児童クラブ小学3年生	20	2	22	八代の歴史や文化	○
11	8月2日(水)	県立八代中学校1年生	5		5	調べ学習・八代の祭りとなりわい	○
12	8月3日(木)	いずみ児童クラブ小学2年生	9	2	11	八代の歴史や文化	○
13	8月8日(火)	夕葉保育園(4～5歳)	29	4	33	なりわい、今昔の生活	
14	10月3日(火)	鏡小学校3年生	65	3	68	かわる道具と暮らし	○
15	10月12日(木)	高田小学校4年生	52	4	56	高田焼や地域の歴史	○
16	10月13日(金)	高田小学校3年生	63	3	66	昔の道具と暮らし	○
17	10月13日(金)	松高幼稚園(3～5歳)	22	6	28	美術動物園の見学	○
18	10月13日(金)	県立八代高校	8	1	9		
19	10月24日(火)	千丁小学校3年生	76	5	81	昔の道具と暮らし	○
20	10月24日(火)	県立清流高校	5	2	7		
21	10月31日(火)	日奈久小学校3年生	8	2	10	かわる道具と暮らし	
22	11月1日(水)	宮原小学校3年生	33	3	36	昔の道具と暮らし	○
23	11月2日(木)	わらび保育園	27	3	30	社会科見学の一環	
24	11月7日(火)	宮地小学校3年生	24	2	26	昔の道具と暮らし	○
25	11月16日(木)	八千把小学校3年生	132	6	138	昔の道具と暮らし	○
26	11月16日(木)	太田郷小学校3年生	126	5	131	昔の道具と暮らし	○
27	11月17日(金)	松高小学校3年生	117	6	123	昔の道具と暮らし	○
28	11月22日(水)	郡築小学校3年生	31	2	33	昔の道具と暮らし	○
29	11月30日(木)	金剛小学校3年生	34	5	39	昔の道具と暮らし	○
30	12月8日(金)	代陽幼稚園	16	5	21		
31	12月15日(金)	第五中学校	7	1	8		
32	1月12日(金)	氷川町立宮原小学校2年生	34	5	39	子ども工作・創作展	
33	1月12日(金)	代陽幼稚園	10	2	12		
34	2月22日(木)	龍峯小学校3年生	11	2	13	変わる道具と暮らし・冬季展	○
		計 34 回	1,187	102	1,289		



小学生への展示案内(八代焼)



小学生への展示案内（昔の道具）



学校への出前講座風景（鏡中学校）

（6）博物館実習、インターン受入れ

	期 間	内 容	人数
1	8月21日（月）～23日（水）	熊本高専八代キャンパス インターンシップ受入れ	4
2	8月29日（火）～9月4日（月）	博物館実習（博物館学単位取得を目指す大学生や社会人対象）	3



古文書調査を体験（インターンシップ）



仏像彫刻の取り扱いを学ぶ（博物館実習）

(7) 博物館資料の特別利用状況

ア. 館外貸出 (6 件 69 点)

番号	申請者	作品名	点数	所蔵	適用	備考
1	天草市	麦島勝撮影写真	31	本館	貸出	天草キリシタン館企画展「祈りのココロ」
2	熊本県立美術館	鳥類生写図のうち丹頂 ほか	5	本館	貸出	親子で見る美術展「二の丸☆パードウォッチング」
3	熊本県立美術館	鳳凰図ほか	2	松井文庫	転出品	親子で見る美術展「二の丸☆パードウォッチング」
4	下関市立歴史博物館	二天一流木刀ほか	4	松井文庫	転出品	特別展「巖流島」
5	熊本博物館長	麦島城出土瓦	25	市教委	転出品	企画展「清正から受け継いだ名城」
6	八代市文化振興課	肥後鋏	2	本館	貸出	お祭りであそぶ館お宝ギャラリー

イ. 特別利用 (閲覧・貸出等 27 件 271 点)

番号	申請者	作品名	点数	所蔵	適用	備考
1	産経新聞社大阪本社	細川三斎像・打刀拵写真	2	本館	写真掲載	冊子『茶聖あり〜千利休生誕 500 年』
2	大垣市教育委員会	談林六世像賛	1	本館	写真掲載	おおがき芭蕉大学・先賢大学受講者募集ポスター
3	炭都三池文化研究会	麦島勝撮影写真「水飴練り」	1	本館	写真掲載	大牟田市石炭産業科学館企画展
4	肥後の里山ギャラリー	鹿子木量平像	1	寄託品	写真掲載	企画展「島原大変肥後迷惑」
5	RKK 熊本放送	細川三斎像	1	本館	写真掲載	八代神社氷室祭中継・祭り紹介
6	熊本県文化財保護協会	肥後鐔	3	本館	写真掲載	協会創立 50 周年記念クリアファイル
7	熊本県内研究者	八代名所集ほか	4	本館	閲覧	八代地域の近世史資料調査のため
8	国際日本文化研究センター	富士三保清見寺図 (矢野雪叟筆)	1	本館	写真掲載	日文学術講演会 Youtube にて紹介
9	株式会社トップシーン	宮本武蔵書状	1	本館	写真掲載	NHKBS「英雄たちの選択」にて紹介
10	熊本県アグリシステム総合研究所	細川三斎像	1	本館	写真掲載	熊本県立大学球磨川流域圏バーチャルキャンパス講座にて使用
11	島田美術館	釘谷洞石下図帖	1	寄託品	写真掲載	島田美術館企画展「肥後武士の装い」
12	八代市日本遺産活性化協議会	鹿子木量平像ほか	3	寄託品	写真掲載	日本遺産企画展「八代を創造した石工たちの軌跡」
13	月刊九州王国編集部	昆虫写生図 (細川重賢筆)	1	本館	写真掲載	月刊九州王国 10 月号「お殿様たちの研究室」
14	上天草市教育委員会	麦島勝撮影写真「崎津天主堂」	1	本館	写真掲載	上天草市歴史資料館紹介映像
15	熊本博物館	加藤忠広書状 (釈迦院文書) ほか	2	寄託品他	写真掲載	特別展「清正から受け継いだ名城」
16	江戸楽編集部	宮本武蔵書状	1	本館	写真掲載	月刊江戸楽連載企画「手紙が語る歴史秘話」
17	戎光祥出版株式会社	八代城郭模型	1	本館	写真掲載	歴史研究会編「歴史研究」口絵「歴史ジオラマの世界」
18	NHK 熊本放送局コンテンツセンター	麦島勝撮影写真	7	本館	写真掲載	NHK 熊本「クマロク」
19	添田町商工観光振興課	細川三斎像	1	本館	写真掲載	「添田町歴史的風致維持向上計画」添田町の歴史に関わる人物
20	熊本県内研究者	小早川文書	26	寄託品	閲覧	中世文書の調査研究
21	ブリティッシュコロロンビア大学 (カナダ) 教授	朝鮮国図ほか (広島加藤家資料)	2	本館	閲覧	加藤清正・朝鮮関係資料の調査研究
22	熊本城調査研究センター	広島加藤家資料ほか	13	本館ほか	閲覧	加藤清正・忠広関係資料の調査研究
23	八代市文化振興課	麦島勝撮影写真	4	本館	写真掲載	お祭りであそぶ館展示パネル掲載
24	北九州森鷗外記念会	麦島勝撮影写真	3	本館	写真掲載	森鷗外を偲ぶ会記念講演資料
25	西日本新聞社熊本総局	麦島勝撮影写真	180	本館	写真掲載	西日本新聞熊本県版連載
26	熊本城調査研究センター	加藤忠広知行宛行状 (鳥居家文書)	1	本館	写真掲載	熊本博物館企画展図録「清正から受け継いだ名城」
27	古武道研究者	天狗書秘伝之巻ほか	8	本館	閲覧	熊本・八代の古武道研究のため

(8) その他

ア. 解説シートの設置 (各特別展示・企画展示・常設展示)

イ. 博物館ホームページへ収蔵品情報を掲載 (収蔵品検索システム登録数 5,897 件)

ウ. 取材対応、新聞・雑誌への寄稿

5. 職員の研修実績

(1) 一般職研修

ア. 入庁5年目研修

日 時 令和5年7月27日(木)・28日(金)
場 所 熊本県市町村自治会館別館
内 容 5年目職員に求められるリーダーシップの理解、業務改善・問題意識の必要性を認識等
参加者 1名(学芸係学芸員)

イ. 安全衛生推進者養成講習

日 時 令和5年12月7日(木)・8日(金)
場 所 熊本県労働基準会館
内 容 安全衛生関係法令、安全管理、危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置、安全衛生教育、作業環境管理及び作業管理、健康の保持増進について
受講者 1名(管理係)

(2) 専門研修

ア. 熊本県博物館連絡協議会専門研修会

日 時 令和5年11月17日(金) 午前10時～午後3時30分
場 所 熊本県博物館ネットワークセンター学習ルーム
内 容 ・国立民族学博物館の資料管理の概要
・文化財IPMに基づいた民俗資料の管理
・被災文化財の保存と活用
受講者 2名(管理係技師、学芸係学芸員)

イ. 国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会

日 時 令和5年6月22日(木) 午後13時30分～17時05分
場 所 館内(オンラインで受講)
内 容 美術工芸品の収蔵庫、防災事業等
受講者 8名(管理係2名、学芸係6名)

(3) 視察研修

ア. 改修工事に向けた博物館施設の先進地視察

日 時 令和5年10月11日(水) 午前10時～12時
場 所 岡山県立博物館
内 容 近年、改修工事を終え、再開館した岡山県立博物館を視察し、収蔵庫や展示室の空調設備、展示照明、空気質対策等の状況を視察
参加者 7名(管理係2名、学芸係1名、建設部営繕課技師4名)

6. 資 料

令和5年度入館状況等 令和5年度 総入館者数 22,863人

	開館日数	入館者数	有料入館者	無料入館者	中学生以下
特別展覧会時	155日	10,283人	5,238人	3,590人	1,455人
貸会場時	59日	10,720人	760人	7,301人	2,659人
常設展時	79日	1,860人	1,005人	555人	300人
合 計	293日	22,863人	7,003人	11,446人	4,414人

○特別展覧会 10,283人（有料入館者 5,238人 無料 3,590人 中学生以下 1,455人）

展 覧 会 名 称	会 期	入館者数
春季特別展覧会 「日本画の巨匠 堅山南風展」	4月21日（金） ～6月4日（日）	3,293人
夏季特別展覧会 「不思議がいっぱい！なりわいの道具」	7月14日（金） ～8月27日（日）	1,444人
秋季特別展覧会・八代の歴史と文化 32 「未来の森ミュージアム名品選～これが私たちの宝物～」	10月20日（金） ～12月3日（日）	2,681人
冬季特別展覧会 「武将の備え～八代城主松井家の武器と武具～」	令和6年2月9日（金） ～3月24日（日）	2,865人

○貸会場 10,720人（有料入館者 760人 無料 7,301人 中学生以下 2,659人）

展 覧 会 名 称 (利 用 団 体 名)	会 期	入館者数
八代市文化祭 書道展（八代書道連盟）	9月5日（火）～10日（日）	547人
八代市文化祭 美術展（八代美術協会）	9月12（火）～18日（月）	1,198人
八代市文化祭 写真展（八代市写真愛好会）	9月20日（水）～24日（日）	642人
八代市文化祭書道展（白竜会書道会・春暁書道会・八代白百合高校）	9月26日（火）～10月1日（日）	638人
八代市文化祭 写真展・美術展（八代市写真連盟・グループ駄・嘯風会ほか）	10月3日（火）～9日（月）	665人
八代子ども美術展（八代市美術・図工部会）	12月8日（金）～10日（日）	1,624人
2人展～風のゆくえ～丸山アトリエK&M	12月13日（水）～24日（日）	532人
熊本県書道連盟展巡回展	令和6年1月6日（土）～8日（月）	243人
八代こども工作・創作展（八代市美術・図工部会）	令和6年1月12日（金）～14日（日）	1,515人
八代小・中・支援学校 書写展（八代市書写部会）	令和6年1月19日（金）～21日（日）	2,528人
片岡雪子展	令和6年1月24日（水）28日（日）	588人

○常設展のみ 1,860人（有料入館者 1,005人 無料 555人 中学生以下 300人）

総入館者数の推移

年度	開館日数（日）	入館者数（人）			無料のうち 中学生以下
		有 料	無 料	計	
平成 26	292	10,910	21,166	32,076	5,469
27	291	6,521	16,796	23,317	4,548
28	260	6,119	18,682	24,801	5,311
29	289	14,688	20,571	35,259	5,905
30	204	5,857	14,012	19,869	2,813
令和元	270	6,127	20,540	26,667	5,040
2	253	2,127	6,868	8,995	2,340
3	252	5,393	11,428	16,821	3,747
4	291	8,043	15,936	23,979	6,225
5	293	7,003	15,860	22,863	4,414

八代市立博物館未来の森ミュージアム
〒866-0863 熊本県八代市西松江城町 12 番 35 号